



荒川区西日暮里2-55-1
国鉄労組東京地方本部
発行責任者 鎌田博一
編集責任者 常盤達雄

No.1750

2012年

9月5日

国労東京

第63回地方大会

9/29 (土) 場所 発明会館
9時 開場
9時半 開会

新橋Aの反撃を門倉選手(大久保駅)のレフト前ヒットによる一点に抑え、大会四連覇を狙う八王子Aチームが準決勝に進出を決めた。
準決勝の組み合わせは八王子A対大井工場、神奈川A対新橋B(品川・電気連合)の組み合わせで九月六日(雨天延期の場合)は九月二〇日)に行われ、続いて決勝・三位決定戦を経て今年の優勝チームが決定される。

熱戦続く
野球大会



東京地本は八月二日に、国労東京委員長杯争奪第四〇回軟式野球大会を大井スポーツセンター野球場において開催した。
一〇時に開会式が行われ、一三チームが整然と入場行進をした。鎌田委員長から大会委員長あいさつ、昨年優勝の八王子地区本部チームから優勝旗返還、相笠審判長から諸注意があり、最後に新橋Bチーム渡辺選手(東京電車線技セ)による選手宣誓が元氣よく行われ開会式は終了した。

試合は一一時に鎌田委員長の始球式で始まった。八王子B(豊田車セ)対上野支部の試合では、八王子B・吉田選手(新座夕)と上野・堀内選手(上野保技セ)の投げ合いで始まり、一回表に八王子Bチームは吉田選手、佐藤伸選手(立川運転区)の連続三塁打でまず二点。一回裏に上野チームは鈴木選手(上野保技セ)のヒットで一点を返し、その後一点ずつを入れたあと、上野チームは五回裏に北村選手(東京信通技セ)のライト前でまず同点。鈴木選手のライト前ヒットで逆転。エラーがらみでさらに一点を追加し三対五とした。六回表に八王子Bチームは内藤選手(豊田車セ)、佐藤選手(同)のタイムリーで追いついたが、六回裏に上野チームは満塁とし、ピッチャーが吉田選手から内藤選手に交代した初球を渡辺選手(東京土木技セ)がショートゴロを打つ間に三塁ランナーが生還しサヨナラ勝ちを収めた。

新幹線チームと優勝候補の一つ神奈川Aチーム(中原電車区)は予想に違わず神奈川Aチームが毎回のように着々と得点を上げ、新幹線チームの反撃を二回裏の鎌田選手(東京車両所)のタイムリーヒットの一点に抑え、一二対一で初戦を突破した。

八王子A(八王子地区協)対新橋支部A(東京駅)の試合では、緑川選手(八王子運輸区)と才田選手(渋谷駅)の投げ合いで始まり、八王子Aは三回表に板垣選手(立川車掌区)のライト前二塁打で一点を先制した。新橋Aはその裏、中村選手(大森駅)の三塁打のあと、二塁打、ヒットで二点を上げて逆転。追いつきたい八王子Aは四回表に石本選手(立川車掌区)の左中間二塁打で同点に追いついた。更に五回表には大野選手(立川運転区)の走者一掃二塁打で三点を上げて五対二とし、その裏の



歓迎
国労加入
8/1付 茅ヶ崎駅(GS)
8/1付 府中本町駅(GS・女性)
8/10付 大宮合両センター
8/11付 武蔵浦和駅

「がん」の保障 《生きるためのがん保険Days(デイズ)》

スタンダードプラン 入院給付金日額 10,000円の場合

初めて診断確定されたとき	診断給付金	がんの場合 上皮内新生物の場合	一時金として 100万円 一時金として 10万円
入院したとき	入院給付金	1日につき	10,000円
通院したとき	通院給付金	1日につき	10,000円
手術したとき	手術治療給付金	1回につき	20万円
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金	1回につき	20万円
抗がん剤治療を受けたとき (上皮内新生物は対象外)	抗がん剤治療給付金	抗がん剤治療を受けた月ごとに 乳がん・前立腺がんのホルモン療法するとき (すべての保険期間を通じ通算600万円まで)	1カ月 10万円 1カ月 5万円

【引受保険会社】 アフラック東京第三法人営業部
〒116-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
当社保険に関するお問い合わせ・各種お手続き
コールセンター 0120-5555-95

【募集代理店】 アベニール株式会社
〒1105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F
電話 03-3437-6810 ファックス 03-3437-6822

「生きる」を創る。Aflac

◆月払保険料(団体取扱)
生きるためのがん保険Days(デイズ)スタンダードプラン
入院給付金日額10,000円 定額タイプ
保険料払込期間: 終身(抗がん剤治療特約は10年更新)

	35歳	45歳	55歳	65歳
男性	3,656円	5,608円	9,360円	15,190円
女性	3,734円	5,274円	6,864円	9,048円

〈抗がん剤治療特約〉の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。
【取りまとめ先】 アベニール株式会社 東京営業所
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-55-1 国労東京地方本部内
JR電話 054-2548 ファックス 03-3806-9275
電話 03-3806-9264

©詳しくは、パンフレット(契約概要)をご覧ください。 AF007-2011-0186 4月25日

脱原発に1260人結集

八月二日に「脱原発社会をめざす八・二労働者集会」(主催、脱原発をめざす八・二労働者集会実行委員会。共催、フオーラム平和・人権・環境)が江東区のテニスコートにおいて開催され、会場一杯の二六〇名が結集し、国労からも東京地本や千葉地本を中心に多くの組合員が脱原発を求めて参加した。

冒頭一三時半に、全国一般東京東部労組の須田書記長から「今日の集会は、大企業、中小零細、正社員、非正規などのカベを超えて準備してきた。三・一一を境に本物と二七物が明らかに変わった一年半でした。本物の労働組合の任務が今問われている」などの開会あいさつがされた。

その後、京都大学原子炉実験所助教の小出裕章さんの講演が一時半に亘って行われた。その中でこれまでの原発など核施設に対する日本政府や電力会社の姿勢などを説明し、原発は田舎に設置し火力発電所は都会に立地する実態が話された。「三・一一

以降福島県を中心に東北南部から関東地方にかけて、放射線管理区域とよっていい汚染を受けた。その区域では多くのものが放射性物質と呼ぶべきものになった。この世界で生きていくしかない。私の願いは①子供を被ばくさせない、②一次産業を守る、の二つ。政府は『除染』というが、実際にできる事は汚れた物質の場所を移す『移染』。全てが汚れている。家も田んぼも山も、全ての『移染』などできない。しかし、子供を守る為に小学校や遊び場などの『移染』はやるべき。表面の一〇cmの土をはぎ取れば被ばくを九割は減らせる。問題ない場所でも、局所的に汚染されている場所もあり、調査して『移染』すべき。

もう一つの問題は内部被ばく。農業・漁業・畜産を汚染地域でやっている。放射能が含まれる食べ物は除くべきだが、それやれば福島県の一次産業は崩壊する。食べられない中で工夫して食べるべき。子供と大人では放射性物質への感受性が違う。一八禁のような六〇禁(六〇歳未満飲食禁止)・五〇禁(一〇禁のように食品を仕訳する)といふ。

原発労働者との連帯が必要。原発労働者から「仕事の事は心配するな」の一声。国労へ来いと声をかけられなければ戻れなかった。待っている人たちも多い。K駅では一人目の加入の時も国労に入れてどうするんだ、という声も組合員にあったが、加入後は残る一人に声かけられれば心も軽くなる。全員が声をかければ心も軽くなる。それがもう一人の加入に繋がった。分会活動を見せたい必要がある。王道はない。やってみれば何が足りないのかが見えてくる」などの話がされた。

八王子地区本部 組対交流会

八王子地区本部は七月二日に組織拡大経験交流会を八王子労政会館において開催した。

田中副委員長の開会あいさつでは「組織拡大に向け、地区本部も様々な取り組みを行なってきましたが、現状は六〇〇名を切る。一昨年からかんばんの宿での交流会などで組合員の意識を高めようとしてきた。拡大に特効薬はない。世話役活動が重要であり、運動を根付かせる事が大事だ」などの話がされた。

次いで東日本本部から樋口執行委員があいさつを行い、東京地本からは宮崎組織部長が東京地本の組織拡大の取り組みを報告した。その後、組織拡大が続く神奈川地区本部の小澤組織部長からは「I駅で復帰したSさんは事業部へ行って二六年ぶりに改札に戻った。不安を国労の分会長に相談し

は九六%が下請け・孫請け・更にその下請け。被ばくが限度に達したら働けなくなる。通常の労働者は労働力を売るが、原発労働者は被ばく能力(あとどれだけ被ばくできるか)を売っている。こうした組合を作ることはとすできない人達をどうしていくかが課題」など、過去の経緯や現状の説明、将来への提言を様々な角度から講演を受けた。



2012 08

検修委託 対策会議 8/17

東京地本は、JR東日本会社の施策「グループ会社と一体になった業務体制のさらなる推進」の各支社からの提案が七月末から八月初めにかけて行われたのを受けて、第五回の対策委員会・関係分会長会議を開催した。

稲荷副委員長のあいさつとあわせ、東日本本部松井書記長から「運転協や工作協の協力をいただいて、対策会議や学習会で議論を突き合わせてきた。そこで、コンプライアンスに

な車両は提供できないというのが考えの基本である。直外区分も過去の例ではゴチャゴチャになっている。偽装請負を許さない取り組みも進めていかなければならない」などの話がされた。

その後、関係分会から「交渉に、今回提案の箇所だけでなく、次回提案予定の分会も入れてほしい」「宇都宮は小山のジェッツ(JR東日本運輸サービス)が受け持つが、出向に出された組合員の分会所属はどうなるのか」「ワンフロアになっていて、助役と運輸サービスの責任者が隣にいて、情報提供しなくても話が分かる状態にして

社会人採用には目を向けなかったが見直し。役員任せではなく、一般組合員も声をかけていこうと話した。歓迎会を東労組と話し合い合同開催した。どうしたら国労をわかってもらえるかを考えている。T駅分会からは「五月から南口改札がアクセスに委託になったが、GSを五年で雇い止めた。正社員にされたとはいえず、基本給は一万四〇〇〇円。都市手当も無い。社

本松川書記長からは「事案のボリュームが大きい。交渉に時間がかかる。交渉にかけられる時間が非常に少ない。出向発令を考えると九月中旬には交渉が終わっていない。安全な車両を提供できるのかを考えていこう、と私たちは意思統一した。労働条件が確保されなければ安全

信できるようにすることが必要」などのまとめがあり、続いて阿部執行委員の団結ガソリンパローで組織拡大を誓いあい、交流会は終了した。

分会活動を見せたい必要がある。王道はない。やってみれば何が足りないのかが見えてくる」などの話がされた。熊田組織部長による八王子地区本部からの提起があったあと昼食休憩を挟んで、分散交流会が行なわれ、さらに突っ込んだ交流がされた。その後各分会から報告を受けた。立川車掌区で国労復帰した佐藤さんから「東労組に移っても国労の人はずっとつきあってもらっていた。年々東労組に疑問を持つようになった。辞める時は国労で一〇年来思っていた。拡大に向け自分も頑張る」などの報告がされた。日分会からは「独自のパンフレットを作成。これまで



海釣り大会

9/15(土) 7:00

川崎 「つい幸」 集合

要申込 10,000円


